

大まかな小学生のうちに行うべきこと

学年	スキル	学習について	その他
小学1年生	<ul style="list-style-type: none"> 学校にしっかり通う 友達となかよくする 少しずつ机に向かう 	<ul style="list-style-type: none"> とにかく計算になれる 漢字を書いて覚える練習 国語の教科書を読む 	<ul style="list-style-type: none"> 護身・体力づくり・マナーなどのため、空手・拳法（小1～6） ピアノなどで音符が読めること（小1～小3） 英会話教室で発音を学習。しかし、単語や文法はできない。
小学2年生	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをすること 学校の宿題を必ずやる 	<ul style="list-style-type: none"> 九九を覚える 四則計算はできるように 漫画でもよいから読む習慣 	<ul style="list-style-type: none"> 小学低学年用の漢字、日本地図、世界地図などは見えるところに貼る
小学3年生	<ul style="list-style-type: none"> 国語、算数を得意にする 読書の習慣を付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 国語・算数の問題集を解く習慣を付ける 漫画でもよいから読む習慣 	<ul style="list-style-type: none"> 理科系に進学させたい場合、数学・理科が好きになるように誘導する（動物園、植物館、高原のハイキングなど動植物に興味を持たせるなど） 水泳は25m泳げるようにしましょう（小3から1年、週2回）
小学4年生	<ul style="list-style-type: none"> 毎日学習する習慣を付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 算数の文章題に慣れる 算数のグラフに慣れる 理科に興味を持たせる 	<ul style="list-style-type: none"> 小学4年生からの理科は重要。 そろばん5級程度まで（飛び級、週2回程度、数字に強くなる目的）
小学5年生	<ul style="list-style-type: none"> 自分で週間学習計画をたて、実行できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 読解力、計算力を付ける 社会に興味を持つ できれば英語の学習を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 地理は、県名・県庁所在地名、県境にある山・川の名前、山地・山脈・高地の名前、海・湾・半島など地図を貼ってみる習慣を付ける。 小学5年生からの社会は重要。
小学6年生	<ul style="list-style-type: none"> 自分で月間学習計画をたて、実行できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 読解力の向上を図る 小数・分数など計算力を完成させる 割合、比例が苦手なら要対策 算数の文章題を解く 英語の学習を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史は、まんが「日本の歴史」、年号カルタ、時代劇、博物館などを利用して、昔の人物・出来事などに興味を持たせる。 割合、比例が苦手な人は、中学校で数学が苦手になりやすいので注意 英語は、学習しておく方が良い（中学生の英語が苦手な人は70%）

中学校に入ると

- 年間**7回の定期テスト**があります。高校入試に関連する内申点は、中学3年生の3学期のもの（中学3年生の総合成績）です。
- 英語、数学、国語は、それまでの学習に対して知識が積み上がっていく科目なので、中学校1年生からしっかり学習していきましょう。定期テストで9科目合計で高得点を取りに行く場合、テスト直前であまり時間をかけなくても良いようにしましょう。
- 理科、社会は、直前に中学校の授業で学習した範囲が定期テストの試験範囲です。試験直前にしっかり学習すれば高得点が取れます。高校入試では、中学3年間で学習した内容が出題されます。理科・社会の中学1・2年生で学ぶ学習範囲は、入試まで授業はありませんので、しっかり**ストック**を作っておきましょう。
- 高校入試では、中学3年間で学習した内容が出題されます。このため、中学3年生の定期テストでは、中学1・2年生の学習範囲もワークブックを宿題として渡され、約30%程度の配点で出題されます。